

関連イベントのお知らせ

EVENT 1 聞けば作品の魅力がもっと深まる！

アーティスト・トーク

日程：2022年12月10日【土】 時間：14:00-17:00（受付は開始時間15分前から）
会場：1階 メインギャラリー内 料金：無料※展覧会チケットが必要です

本展に入選した作者や関係者と共にギャラリー内を巡り、出展作品の前で作品への思いや、制作背景についてお話をうかがいます。来場者が作者や支援者と直接対話ができる機会であり、参加者同士の交流の場にもなっています。



EVENT 2 審査員によるトーク、ポコラートの10回を振り返る

ポコラート会議

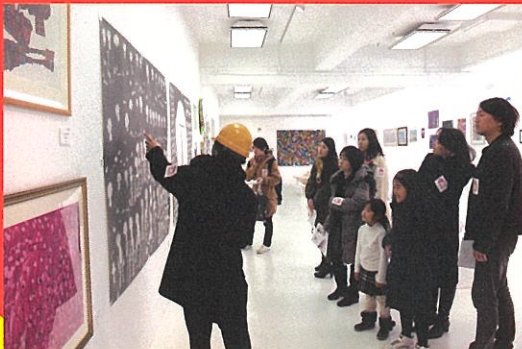
日程：2022年12月11日【日】 時間：17:30-19:00（受付は開始時間15分前から）
会場：1階 コミュニティスペース 料金：無料（要予約）※展覧会チケットが必要です 定員：50名
「作品部門」と「形にならない表現部門」の審査員が全員揃い、ポコラート全国公募展 vol.10の入選作品について語ります。そして、これまで「Place of Core Art (POCORART)」はどんな場であったのか、10回の開催を振り返ります。
出演者：O JUN、日比野克彦、保坂健二郎、大月ヒロ子、西原瑛、中村政人



EVENT 3 見方いろいろ、自由な感想を伝え合おう！

ポコラート鑑賞ツアー

ポコラート担当スタッフによる鑑賞ツアーです。参加者同士でおしゃべりしながら会場を巡ります。障がいの有無に関わらず、みんなでポコラートについて語り合いたい。詳細はHP・SNSで随時更新！



イベント参加申し込み方法 申込締切：開催日2日前の正午12時までに申し込みください。申込方法：メールもしくはお電話・FAXにて受付いたします。
イベント申込メールアドレス：pocorart@3331.jp 電話：03-6803-2441（代表） FAX：03-6803-2442

メール・FAXによる 申込時の必要事項 件名に「（参加希望のイベント名）申し込み」とご記入の上、本文に以下の項目をお書きください。
①お名前（ふりがな）②当日のご連絡先（携帯電話など）③参加人数④障がいの有無と介助状態（介助者同伴など）⑤その他

※当日配慮することや必要な介助などがございましたらお知らせください。※未成年者の場合、年齢をご記載ください。※小学生以下のお子さまは保護者同伴でご参加ください。※介助者同伴の場合、介助者の必要事項についてもご連絡ください。※応募者多数の場合は先着順となります。お早めにお申し込みください。お申込み後、詳細を改めてご連絡差し上げます。※障害者手帳をお持ちの方とその付添いの方1名は展覧会チケットが無料となります。



アクセスマップ
アーツ千代田 3331 〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14

- 東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分
- 東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分
- 都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩6分
- JR御徒町駅南口より徒歩7分
- JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分
- JR御茶ノ水駅聖橋口より徒歩15分

お問い合わせ先
アーツ千代田 3331 ポコラート全国公募事務局
電話 03-6803-2441（代表） FAX 03-6803-2442
お問い合わせメールアドレス：pocorart@3331.jp

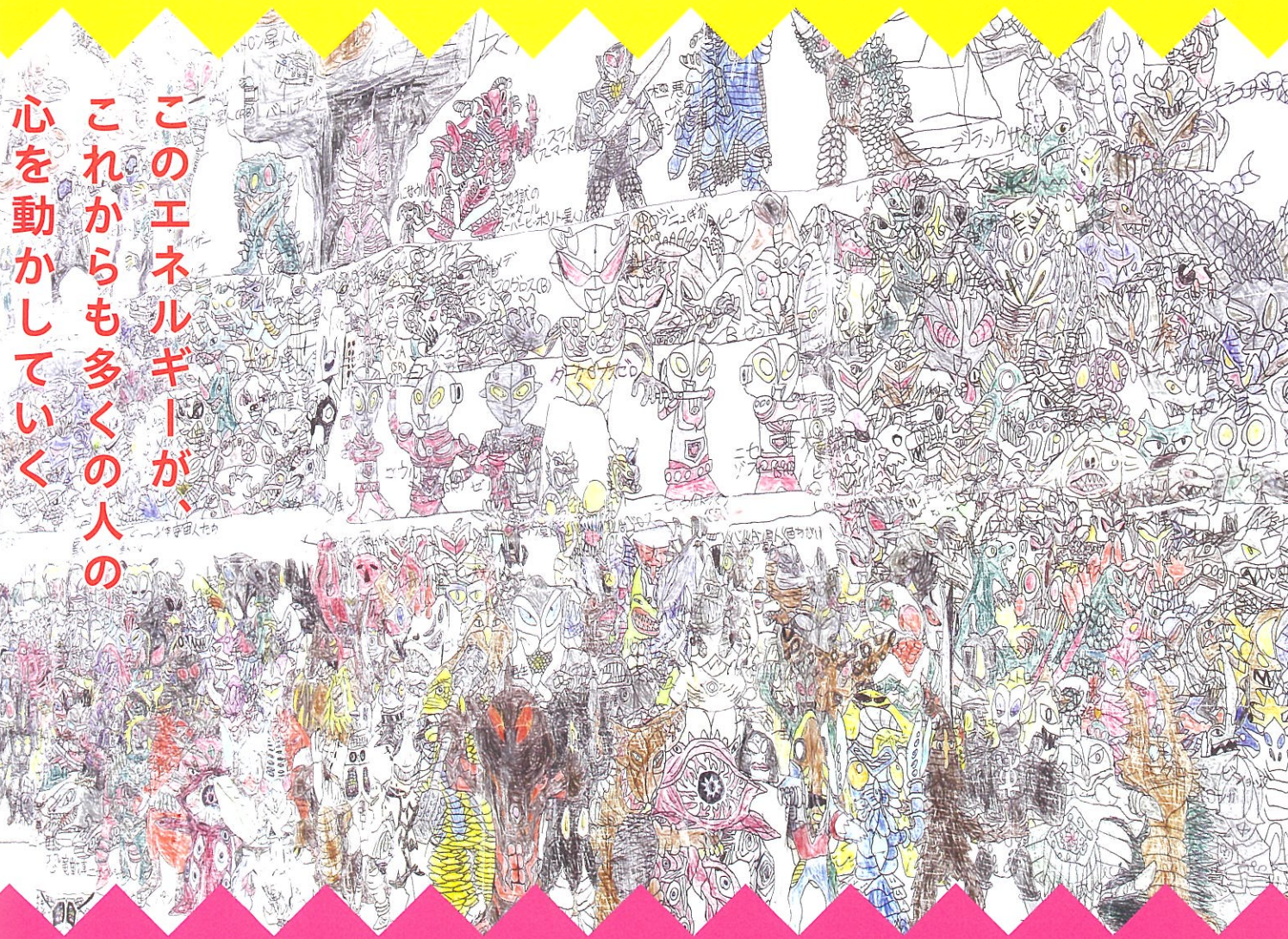
<https://pocorart.3331.jp/>



作品部門113点、形にならない表現部門6企画を展示・発表
ポコラート全国公募展 vol.10



2022.12.10 sat.~12.25 sun. 11:00-19:00 ⑦ 12.19 mon.



会場：アーツ千代田 3331 1階 メインギャラリー 料金：一般500円／65歳以上300円／中学生以下無料
※障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料 ※千代田区民は身分証明書のご提示で無料

主催：千代田区、アーツ千代田 3331
メインビジュアルの作品：八木 志基「怪獣墓場」（ポコラート全国公募vol.7入選作品）

すべての革新は患者さんのために
CHUGAI 中外製薬
特別協賛 Roche ロシュ グループ 協賛 三菱地所

ポコラート全国公募展 vol.10とは

「ポコラート全国公募」は、障がいのある人、ない人、アーティスト、年齢や経験に関わらず自由な表現の場を生み出すべく2011年よりスタートした全国公募です。作品の公募を通じて人と人、人と作品、異なる感性が出会うことで「人間」や「アート」について対話ができる場を目指し活動を行っています。10回目の今回は、2019年以來の3年ぶりの実施となり、「作品部門」「形にならない表現部門」へ計602点の応募がありました。

本展では、審査員による選考と審査会場公開時(10月7日~10日)の来場者投票によって選出された作品を一堂に展示します。「作品部門」では113点の作品を展示し、「形にならない表現部門」では、「ワークショップ」「身体表現」「ライブパフォーマンス」などの企画の中から入選となった6企画の紹介展示や発表を行います。

コロナ禍を経ても、作品からは変わることの無い力強いエネルギーが感じられます。ポコラートに集まった多彩な表現の数々をお楽しみください。

作品部門(入選113点)

平面作品、立体作品、映像作品、ドローイングブック、漫画や文芸作品など、作家たちの自由で独創的なエネルギーに満ちあふれた作品がメインギャラリーを埋めつくします。



作品部門 審査員

O JUN
(おー・じゅん)
画家

花、人、物、そのいずれでもないもの。私たちが絵に描いたり造形するものは、私たち自身を繰り返しなぞる対象世界だ。これは愛なのか、それとも業なのか。審査会場を埋め尽くす表現を前にして、その発動を見る思いがした。それを見続けることも同じエネルギーが必要だ。私たちも作品から問われている。



作品部門 審査員

日比野克彦
(ひびの・かつひこ)
アーティスト、
東京藝術大学学長

いつも作品を見る時に考えること、想像することは「この作品を作っている人は何を考えて、何の衝動で、なにをしたくて、どうしたくて、作っている・もしくは素材を触っている、時間を過ごしているのかなあ〜」ということ。そんな気分でも作品を作りたいなあ〜という気になったものが、「これいいなあ〜」というふうになっていく。



作品部門 審査員

保坂健二郎
(ほさか・けんじろう)
滋賀県立美術館
ディレクター(館長)

自分にとっては6年ぶりとなるポコラートの審査。歴史も流行も関係ない作品なので、選ぶ側の目、基準、論理、感覚、愛(あるいは厳しさ)が試されるなあ、改めて感じた。そんな中、なぜだか今回はテキスト系の作品が気になったのだが、そうしたジャンルも受けとめるポコラートという場の大切さを、ひしひしと感じた。

形にならない表現部門(入選6点)

身体を使った表現や音を使った表現、ただひたすらの行為の蓄積など、形にならない表現を展示・発表します。本展では入選者によるパフォーマンス作品があります。実施日程は作者の体調等を踏まえ、実施直前にSNSやHP等でご案内いたします。



形にならない表現部門 審査員

大月ヒロ子
(おおつき・ひろこ)
IDEA, INC. 代表取締役

「形にならない表現部門」では、人にとって表現とは何なのかという極めて大きな問いが、常に自分自身に突きつけられているように感じる。無為の行為から、自覚的・意図的な表現に至るまでの微妙なグラデーションを丁寧に辿ることによって、その答えが見つかることもあれば、並走しているもう一つの眼差しの存在こそが、それを表現たりえさせていることの大切さにも気付かされるのだ。



形にならない表現部門 審査員

西原珉
(にしはら・みん)
秋田公立美術大学教授、
キュレーター、臨床心理士

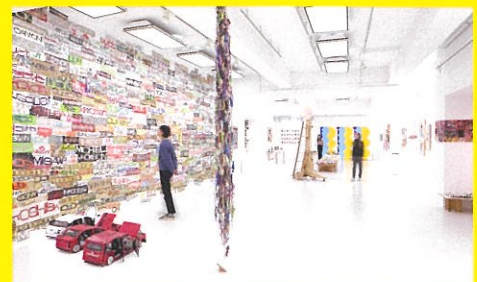
形にならない表現部門の作品はどれもその人自身のようにオリジナルで、審査は新たな作品が登場するたびに胸が躍る体験だった。実現に逸る気持ち、そして表現を他の人に届けたいという心が、作品プランに添えられた文章や画像などから迸って押し寄せてくるよう。このエネルギーが、これからも多くの人の心を動かしていくに違いない。



作品部門・形にならない表現部門 審査員

中村政人
(なかむら・まさと)
アーティスト、東京藝術大学教授、
3331 Arts Chiyoda 統括ディレクター

開館以来継続してきたポコラート全国公募展。福祉には表現、アートには魂が欠けているのでは?とポコラートは、既存の公募展の枠を広げ展開してきた。世界展も経験しポコラートの目指す方向は間違っていないことを確信した。今回、初心に帰るような想いで審査に臨んだが、何度観ても審査の方が試されていると実感する。私の審査は、ポコラートで培った「純粋×切実×逸脱」という視点を作者、作品に重ねて鑑みていく。形にならない表現部門では、その行為そのものにその視点を重ねていく。作品審査を通して、日本のアートシーンや自分自身の曖昧で見えにくい邪心のような違和感も浮き彫りにされたように思える。この言語化しにくい違和感をポコラートの活動で考えていかななくてはならない。



賞について

本展で展示される入選作品の中から、各審査員による【審査員特別賞】と、千代田区長による【千代田区長賞】、来場者投票による【オーディエンス賞】を選出します。

※来場者投票は12月18日(日)まで。賞は12月25日(日)に、HPと会場内で発表いたします。2023年2月に受賞者展を開催予定です。